

TRUSCO®

令和5年(2023)12月期 通期(第61期) 決算説明会

令和6年(2024)2月9日(金)

15:30~16:30

トラスコ中山株式会社 証券コード:9830

(「苦は去れ」と覚えてください)

【発行責任者】トラスコ中山株式会社 経営企画部 部長 高田 真由美(たかた まゆみ)

【本件問い合わせ先】経営企画部 広報IR課 課長 吉見 今日子(よしみ きょうこ)／高橋 実花(たかはし みか)

TRUSCO

TEL:03-3433-9840／MAIL:info@trusco.co.jp

アジェンダ

■スケジュール

- 15:30 本日の決算説明会について
- 15:35 決算概要について
- 15:50 当社の取り組みについて
- 16:10 質疑応答
- 16:30 終了
- 16:40 懇親会

■決算説明会について

- ・質疑応答は会場参加、オンライン参加の順番にお伺いいたします

・ご質問の際は





- ①企業名②お名前③ご質問内容をお話してください

- ・ウェビナーにてご参加の皆様は宜しければ説明会終了後にアンケートのご協力をお願いいたします

【連結】経営成績

	令和4年(2022)12月期(第60期) 実績			令和5年(2023)12月期(第61期) 実績			
	実績	構成比	前年比	実績	構成比	前年比	予算比
売上高	2,464億53百万円	-	+8.6%	2,681億54百万円	-	+8.8%	+0.8%
売上総利益	521億60百万円	21.2%	+9.4%	575億22百万円	21.5%	+10.3%	+1.0%
販売費及び 一般管理費	374億93百万円	15.2%	+8.1%	390億3百万円	14.5%	+4.0%	△0.1%
(うち減価償却費)	66億67百万円	2.7%	△3.8%	62億6百万円	2.3%	△6.9%	△3.1%
営業利益	146億67百万円	6.0%	+12.8%	185億19百万円	6.9%	+26.3%	+3.3%
経常利益	150億65百万円	6.1%	+11.1%	186億69百万円	7.0%	+23.9%	+2.5%
親会社株主に属する 当期純利益	106億26百万円	4.3%	△8.4%	122億68百万円	4.6%	+15.4%	+0.6%
1株当たり 当期純利益	161円15銭	-	△14円71銭	186円05銭	-	+24円90銭	+1円19銭
1株当たり配当金	40円00銭	-	+4円50銭	46円50銭	-	+6円50銭	±0円
PB売上高	458億76百万円	18.6%	+5.6%	483億13百万円	18.0%	+5.3%	△3.4%
設備投資額	47億99百万円	-	-	134億69百万円	-	-	-

決算ダイジェスト

売上高 	2,681億54百万円 (前年比+8.8%)	<ul style="list-style-type: none">・約59万アイテムの豊富な在庫保有と、最先端の物流機器を活用した「ニアワセ+ユーチョク」(荷物詰合わせとユーザー様直送)をはじめとするお客様の利便性向上と環境負荷軽減に貢献する施策を強化
売上総利益 	575億22百万円 (前年比+10.3%)	<ul style="list-style-type: none">・値上げ前に旧価格で購入した在庫の価格改定後の販売において利益幅が拡大した影響(約23億円)・仕入価格の販売価格転嫁が進んだことによる影響
販売費及び一般管理費 	390億3百万円 (前年比+4.0%) (前年差額+15億9百万円)	<ul style="list-style-type: none">・人件費(+約10億円、達成インセンティブ支給、臨時ボーナス支給による影響)・運賃及び荷造費(+6億31百万円、売上高増加、輸送コスト増加に伴う影響)・減価償却費(△4億61百万円)
特別損失	9億13百万円	<ul style="list-style-type: none">・株式評価額見直しのため損失計上
親会社株主に 帰属する当期純利益 	122億68百万円 (前年比+15.4%)	<ul style="list-style-type: none">・価格改定前に仕入れた在庫の販売価格変更等による売上総利益率の上昇、販売費及び一般管理費が売上増加に対して抑えられたことにより、前年比+15.4%

【連結】セグメント別実績

	令和4年(2022)12月期(第60期)通期実績				令和5年(2023)12月期(第61期)通期実績					
	売上高			売上 総利益率	売上高				売上 総利益率	
販売ルート	実績	構成比	前年比	実績	実績	構成比	前年比	予算比	実績	前期末比
ファクトリー ルート	1,706億6百万円	69.2%	+5.1%	21.2%	1,821億88百万円	67.9%	+6.8%	+0.1%	21.5%	+0.3pt
eビジネス ルート	515億76百万円	20.9%	+16.2%	22.1%	591億21百万円	22.1%	+14.6%	+2.1%	22.3%	+0.2pt
ホームセンター ルート	221億62百万円	9.0%	+20.7%	17.4%	242億60百万円	9.0%	+9.5%	+3.0%	17.4%	±0.0pt
海外 ルート	21億8百万円	0.9%	+24.4%	35.8%	25億83百万円	1.0%	+22.5%	△1.8%	34.4%	△1.4pt
全社合計	2,464億53百万円	100.0%	+8.6%	21.2%	2,681億54百万円	100.0%	+8.8%	+0.8%	21.5%	+0.3pt

【連結】販売費及び一般管理費

実績：390億3百万円（前年比+4.0%、+15億9百万円）

勘定科目	令和4年(2022)12月期 (第60期) 通期	令和5年(2023)12月期(第61期) 通期 実績			令和5年(2023)12月期 (第61期) 通期 予算
	実績	実績	前年増減額	前年比	
① 給料及び賞与	130億36百万円	134億51百万円	+4億15百万円	+3.2%	135億92百万円
② 運賃及び荷造費	76億30百万円	82億61百万円	+6億31百万円	+8.3%	83億66百万円
③ 減価償却費	66億67百万円	62億6百万円	△4億61百万円	△6.9%	64億2百万円
④ 賞与引当金繰入額	8百万円	6億83百万円	+6億74百万円	+8,181.8%	2億64百万円
⑤ その他	101億51百万円	104億1百万円	+2億49百万円	+2.5%	104億30百万円
合計	374億93百万円	390億3百万円	+15億9百万円	+4.0%	390億40百万円

①+④人件費 +約10億円

月次達成インセンティブ支給(総額3億19百万円)

臨時ボーナス支給(総額7億91百万円)

ロジスコース賞与支給月数の変更(前年比+1億56百万円)

参考)キャリア(国内・海外) 2022年771万円⇒2023年824万円(+53万円、+6.9%)

全社員平均※ 2022年661万円⇒2023年707万円(+46万円、+7.0%)

※役員・執行役員除く

②運賃及び荷造費 +6億31百万円

出荷量の増加による影響(+87百万円)

輸送コスト増加による影響(+2億7百万円)

内、ユーザー様直送増加による影響(+2億1百万円)

※ユーザー様直送に係る運賃は、お客様にご負担いただいております

③減価償却費 △4億61百万円

ソフトウェア償却期間満了による影響

システム稼働の後ろ倒しによる影響

【連結】設備投資実績

(単位:百万円)

令和5年(2023) 主な設備投資 内訳		令和5年(2023) 投資実績	令和5年(2023) 投資実績 合計
物流機器	プラネット愛知物流機器設備設置工事先行発注費用 (投資予定総額:約95億円)	2,563	3,855
	プラネット東関東 第2パレット自動倉庫 (投資総額:約27億円)	319	
	堺ストックセンター パレット自動倉庫 (投資総額:約18億円)	419	
デジタル	商品データベース「Sterra」構築 (投資予定総額:約13億円)	905	2,111
	基幹システム「Paradise」などの機能強化	312	
建物	大阪本社移転先ビル 改修費用 (投資予定総額:約17億円)	900	7,503
	プラネット愛知新築計画 (投資予定総額:約181億円)	6,101	
年間設備投資額			13,469

物流センター「プラネット愛知」



2026年7月稼働予定

物流センター「プラネット東関東」



2023年3月稼働

第1パレット自動倉庫棟
1,556パレット
第2パレット自動倉庫棟
4,556パレット

物流センター「堺ストックセンター」



2023年4月稼働

パレット自動倉庫
パレット数
3,304パレット

<設備投資額に関して>
 ・設備投資予定額には、計画中のものも含まれているため、投資額は変動する場合があります。
 ・第61期(2023)はキャッシュアウトベースの金額で記載しております。

第62期 通期 経営計画について

売上総利益については、在庫評価益約5億円の計上を考慮しております。

販売費及び一般管理費については、達成インセンティブ支給による給料及び賞与の増加、ユーザー様直送増加による運賃及び荷造費の増加を見込んでいます。

	令和5年(2023)12月期 (第61期)	構成比	令和6年(2024)12月期 (第62期)計画	構成比	前年増減額	前年比
売上高	2,681億54百万円	—	2,847億10百万円	—	+165億55百万円	+6.2%
売上総利益	575億22百万円	21.5%	597億60百万円	21.0%	+22億37百万円	+3.9%
販売費及び一般管理費	390億3百万円	14.5%	411億50百万円	14.5%	+21億46百万円	+5.5%
(内、減価償却費)	62億6百万円	2.3%	63億75百万円	2.2%	+1億69百万円	+2.7%
営業利益	185億19百万円	6.9%	186億10百万円	6.5%	+90百万円	+0.5%
経常利益	186億69百万円	7.0%	188億50百万円	6.6%	+1億80百万円	+1.0%
親会社に帰属する 当期純利益	122億68百万円	4.6%	147億40百万円	5.2%	+24億72百万円	+20.1%
1株当たり配当金	46円50銭	—	49円00銭	—	+2円50銭	—

【連結】第62期 販売費及び一般管理費

計画：411億50百万円（前年比+5.5%、+21億46百万円）

	勘定科目	令和5年(2023)12月期(第61期)		令和6年(2024)12月期(第62期)		
		実績	前年比	計画	前年増減額	前年比
①	給料及び賞与	134億51百万円	+3.2%	140億85百万円	+6億33百万円	+4.7%
②	運賃及び荷造費	82億61百万円	+8.3%	88億80百万円	+6億18百万円	+7.5%
③	減価償却費	62億6百万円	△6.9%	63億75百万円	+1億68百万円	+2.7%
④	その他	110億84百万円	+9.1%	118億10百万円	+7億25百万円	+6.5%
	合計	390億3百万円	+4.0%	411億50百万円	+21億46百万円	+5.5%

①給料及び賞与 +6億33百万円

月次達成インセンティブの支給（+1億88百万円）
パート人員増加・時給増加（+1億78百万円）

②運賃及び荷造費 +6億18百万円

出荷量の増加、輸送コストの増加による影響（+3億67百万円）
荷造梱包費増加による影響（+1億43百万円）

※ユーザー様直送に係る運賃は、お客様にご負担いただいております

③減価償却費 +1億68百万円

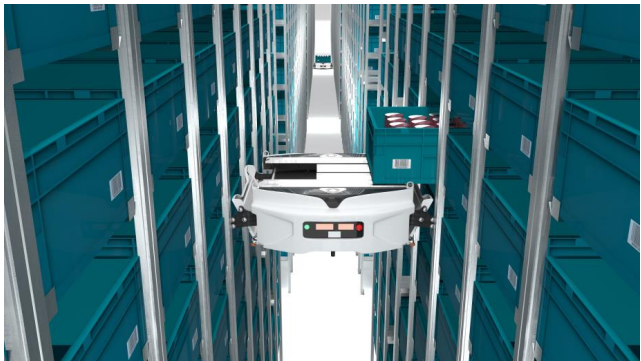
大阪本社移転先ビル改修工事（+88百万円）
プラネット大阪・プラネット埼玉出荷機器（+44百万円）

【連結】設備投資計画

(単位:百万円)

令和6年(2024) 主な設備投資 内訳		令和6年(2024) 投資計画	
設備	プラネット埼玉「Skypod」導入(総投資額:約10億円)	300	1,680
	配達用トラック、営業車購入(総投資額:約2億円)	108	
デジタル	トラスコ オレンジブック.Com/オレンジコマース基盤強化(総投資額:約14億円)	684	3,596
	基幹システム「Paradise」の基盤刷新・機能強化 (投資予定総額:約7億円)	400	
	ECクロス構築(総投資額:約5億円)	360	
建物	プラネット愛知新築計画 (投資予定総額:約181億円)	9,849	16,603
	プラネット新潟新築計画 (投資予定総額:約165億円)	5,600	
	大阪本社移転先ビル 改修費用 (投資予定総額:約17億円)	810	
	プラネット埼玉 テント倉庫新築 (投資予定総額:約5億円)	335	
年間設備投資額		21,879	

プラネット埼玉「Skypod」導入



物流センター「プラネット愛知」



物流センター「プラネット新潟」



<設備投資額に関して>
 ・設備投資予定額には、計画中のものも含まれているため、投資額は変動する場合があります。

第62期の取組みについて

代表取締役社長
中山 哲也

1. 他社に真似できないサービス・機能を更に強化する

—重要指標の実績と計画—

(1) 取扱メーカーの拡大

2023年 3,509社 (+237社) ⇒ 2024年 3,709社 (+200社)

(2) 在庫アイテムの拡大

2023年 59万アイテム (+3万アイテム) ⇒ 2024年 62万アイテム(+3万アイテム)

(3) トラスコ オレンジブック.Com公開アイテムの拡大

2023年 410万アイテム (+94万アイテム) ⇒ 2024年 540万アイテム(+130万アイテム)

1. 他社に真似できないサービス・機能を更に強化する

(4) **大好評!**「ニアワセ+ユーチョコ」サービスの強化

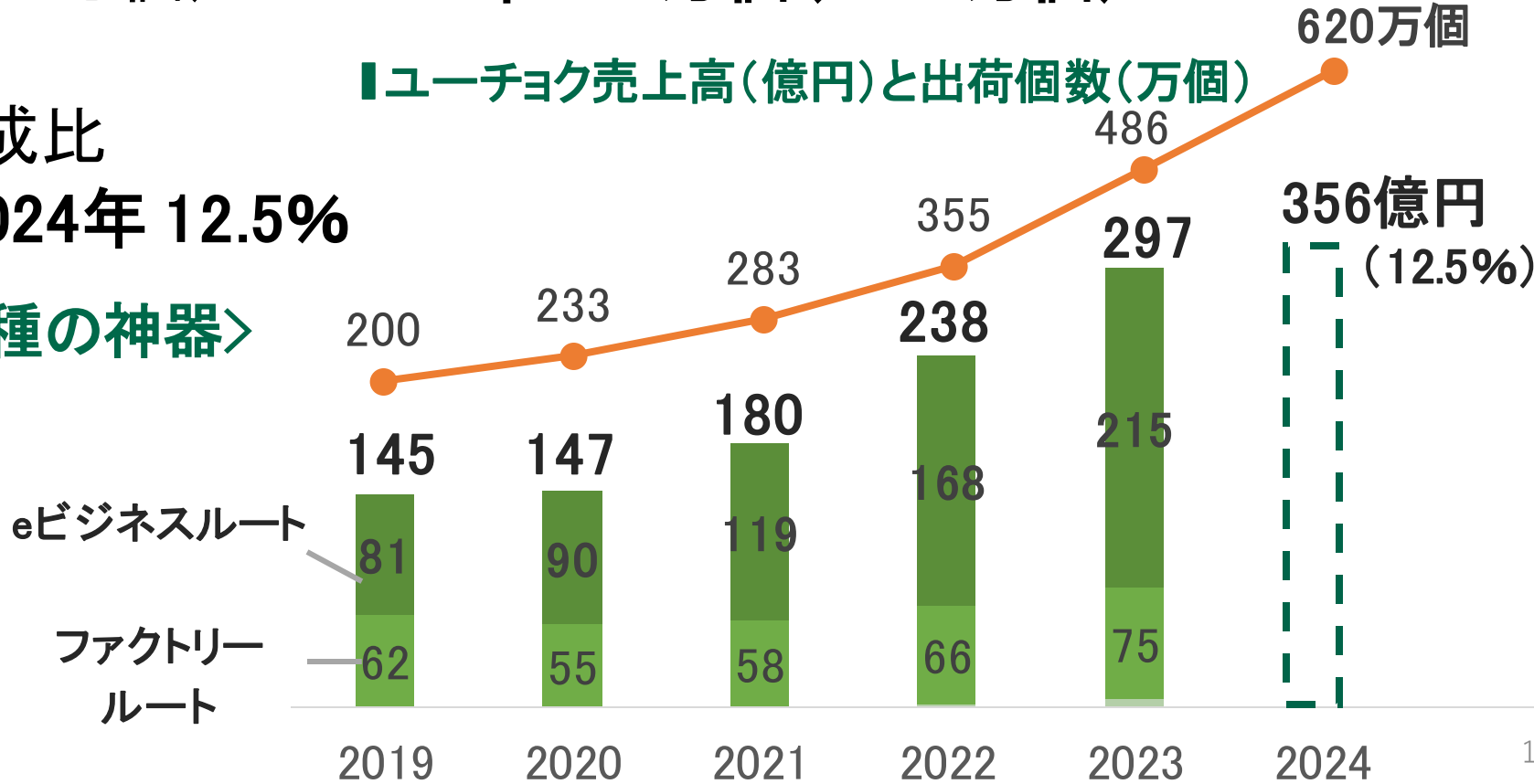
(荷物詰合わせ+ユーザー様直送)

2023年 486万個(+131万個) ⇒ 2024年 620万個(+134万個)

ユーチョコ売上高構成比
2023年 11.0% ⇒ 2024年 12.5%

<サービス実現のための4種の神器>

- ①豊富な在庫アイテム
- ②大型物流センター
- ③最先端の物流機器
- ④高度なデジタル技術



1. 他社に真似できないサービス・機能を更に強化する

(5)「MRO Stocker」の売上拡大と設置拡大

設置数 2023年 1,203件 (+428件)⇒ 2024年 1,430件 (+227件)

売上高 2023年 3億48百万円 (+1億53百万円)
⇒ 2024年は1か所あたりの利用頻度拡大を目指す



—MRO Stocker導入事例—
在庫数: 146アイテム
設置台数: 軽量棚7台
〈主な在庫アイテム〉
消耗備品(手袋、作業靴
検査用採水瓶)

1. 他社に真似できないサービス・機能を更に強化する

(6) ユーザー様商品引取サービス「ユークル」(仮称)

- ・ユーザー様のご来店による商品引取を積極拡大する
- ・お急ぎ商品の納期短縮、運賃低減、物流難品の荷造り梱包手間と運賃の削減
- ・ネット通販企業様に新たな物流手段のご提供となる
- ・ユーザー様との接点拡大→情報収集→売上拡大

ユーザー様商品引取サービスも在庫があるからこそできるサービス



物流センター「プラネット埼玉」の
商品引取スペース

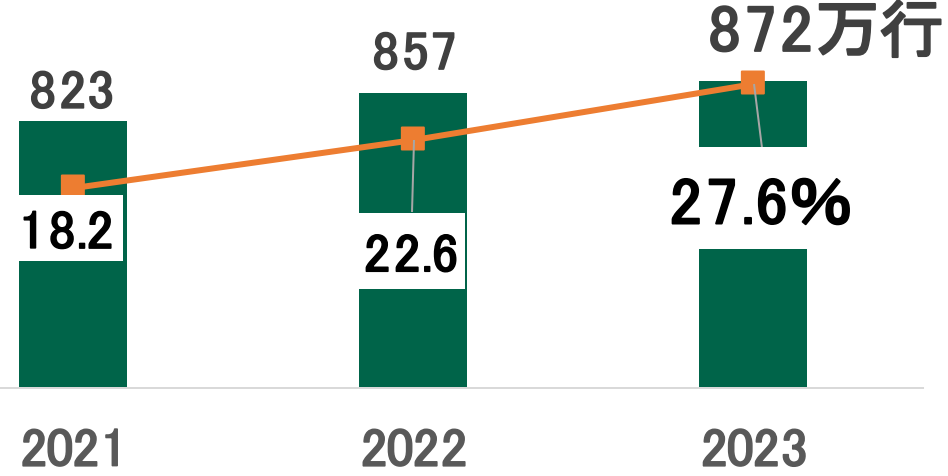
1. 他社に真似できないサービス・機能を更に強化する

(7) デジタルツールによる業務効率化

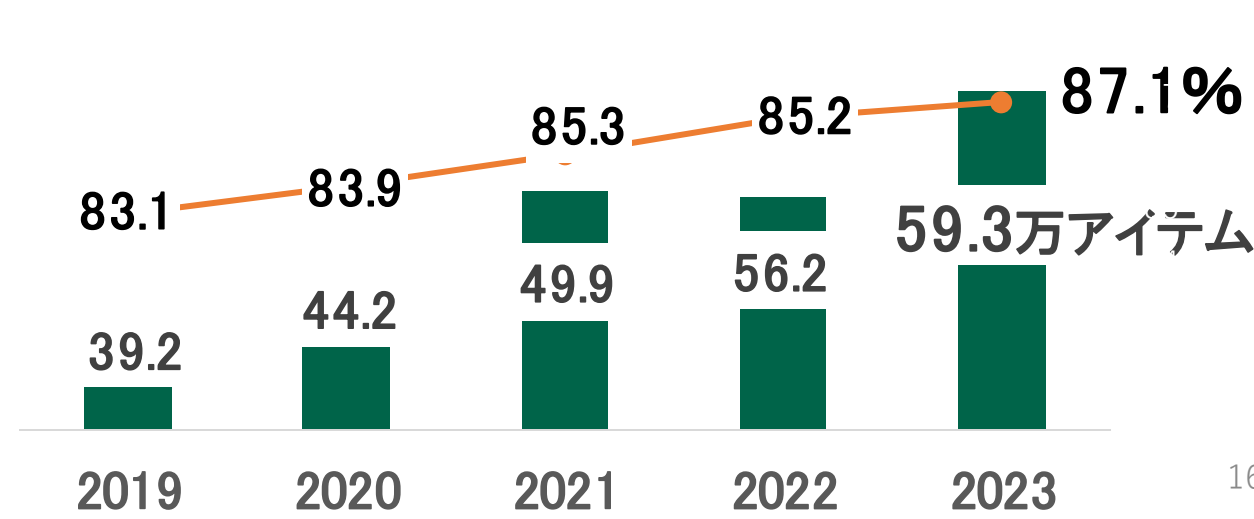
見積自動化率 2023年 27.6% (+5.0pt) ⇒ 2024年 31.0% (+3.4pt)

システム受注率 2023年 87.1% (+1.9pt) ⇒ 2024年 88.0% (+0.9pt)

年間見積行数(万行)と
見積自動化率(%)の推移



在庫アイテム数(万アイテム)と
システム受注率(%)の推移



2. 設備投資の進捗状況

(1) 物流センター「プラネット埼玉」の稼働後の各指標

- ・ 全社売上高 2018年 2,142億円 ⇒ 2023年 2,681億円 (+539億円)
- ・ プラネット埼玉出荷額 ⇒ 2023年 227億5百万円
- ・ 在庫アイテム数 2018年 37.4万アイテム ⇒ 2023年 59.5万アイテム (+22.1万アイテム)
- ・ 在庫出荷率 2018年 89.9% ⇒ 2023年 92.1% (+2.2pt)
- ・ ユーザー様
直送個口数 2018年 175万個口 ⇒ 2023年 486万個口 (+311万個口)
- ・ システム受注率 2018年 81.7% ⇒ 2023年 87.1% (+5.4pt)

プラネット埼玉なくして成長戦略を推し進めることはできなかった

2. 設備投資の進捗状況

(2) 物流センター「プラネット愛知」の建設(2026年稼働)

- ①在庫100万アイテム目標
- ②「ニアワセ+ユーチョコ」機能強化に重点を置く
- ③総投資額 約300億円(土地:約20億円、建物:約180億円、設備:約100億円)
- ④最大出荷可能金額
1,000億円/年(見込み)

延床面積は
プラネット埼玉の2倍!

【所在地】	愛知県北名古屋市
【敷地面積】	12,595 坪 (41,634 m ²)
【延床面積】	26,795 坪 (88,579 m ²) ※東京ドーム約2個分
【階数】	倉庫4階、事務所4階、免震構造
【建屋竣工】	2025年1月 出荷開始:2026年7月予定
【設計・施工】	大成建設株式会社様



2. 設備投資の進捗状況

プラネット愛知 建設状況映像放映

2. 設備投資の進捗状況

(3) 物流センター「プラネット新潟」の建設(2026年稼働)

- ①ホームセンター各社様向けの納品出荷能力の向上
- ②ファクトリールート東日本向けの大型商品出荷機能を持つ
- ③日本海ルートでの輸入拠点として海上輸送コスト、納期の削減を目指す
- ④総投資額 約180億円(予定)

【所在地】新潟県三条市
【敷地面積】7,958坪(26,307㎡)
【延床面積】約14,218坪予定(約47,000㎡予定)
【階数】倉庫4階、事務所3階、免震構造
【建屋竣工】2025年11月予定、出荷開始:2026年9月予定
【設計/施工】株式会社日建設計様/鹿島建設株式会社様
【物流機器】パレット自動倉庫、電動式移動パレットラック



2. 設備投資の進捗状況

(4) プラネット埼玉の保管能力強化

- ① テント倉庫新築 総投資額 約5億円、今期投資額約3億円(2024年稼働予定)
(エグゾテック)
- ② EXOTEC社(仏)「Skypod(スカイポッド)」の導入(2025年稼働予定)

在庫保有: 約10万アイテム 総投資額 約10億円、今期投資額 約3億円



(エグゾテック)
EXOTEC社(仏)
「Skypod(スカイポッド)」

2. 設備投資の進捗状況

物流機器「Skypod（スカイポッド）」映像放映

3. 女性役員問題への対応状況

「提案女子会」の発足

- ①月1回の取締役会(経営会議)への参加
- ②取締役会(経営会議)での提言

- ・従業員に占める女性従業員の割合 35.5%(社員)73.2%(パートタイマー)
- ・係長級にある者に占める女性従業員の割合 23.7%
- ・管理職に占める女性従業員の割合 8.7%

「提案女子会」のメンバー

デジタル推進課 課長代理 大阪NB商品課
松田 しおり 川口 正子
13年目 キャリア 16年目 キャリア

広報IR課 課長 プラネット大阪
吉見 今日子 中久保 裕美
15年目 キャリア 8年目 ロジスエリア



人材開発課 兼 HRサポート課 課長 岡山支店 大阪支店 熊本支店
中西 陽子 村上 麻菜美 福原 希望 緒方 理美
19年目 キャリア 5年目 キャリア 5年目 キャリア 17年目 エリア

事前質問

Q1.

ファクトリールートは前期の増収率が7%弱と久しぶりに比較的高い伸びとなりました。

この先、在庫アイテム数やセンターの拡充によってふたたび二桁近い伸びが期待できるものでしょうか？

または既に潜在市場や顧客の大半は取ってしまったのでしょうか？

もう一段の成長のための営業強化策はあるのでしょうか？

A1.

「ご注文は不便な会社から、便利な会社へ流れる」

この利便性を求める流れは加速しており、そのニーズにお応えすることにより、成長は持続できるものと考えています。業界シェアの算出は、各社取扱商品が複雑に入り組んでおり、正確にカウントすることは不可能です。

市場、顧客は毎年確実に増加しており、取扱商品や在庫の拡大、そして物流力、デジタル力の強化により、更なる成長が実現可能だと考えています。

Q2.

プラネット埼玉をはじめとする物流センターへの投資が重なった際、減価償却費が対売上で3%まで上昇しました。

この先のプラネット愛知、プラネット新潟稼働後の同比率はどの程度を見込まれているのでしょうか？

A2.

成長のためには設備投資が必須であり、減価償却費が売上の何%を占めるのか？という計算は一切しておりません。必要な投資か否かで経営判断をしており、設備投資を抑制するような、減価償却費を売上の何%までに抑えるというような判断は一切しておりません。「費用対効果」につきましても、経営判断に「費用対効果論」はそぐわないと考えており、設備投資総額と利益水準の見合いと考えています。

Q3.

物流の24年問題については、既に大半が対応済みと認識しておりますが、ここから数年先を見据えた際、次の物流の脅威・課題は何かありますでしょうか？ また逆に物流課題をどのように収益機会にされていますでしょうか？

MROストッカーのオープン化や物流体制のコンサル、支援など物流課題を収益機会にされるような考えはありますでしょうか？

A3.

物流24年問題は「ニアワセ＋ユーチョク」を行う当社にとって追い風となります。今後、物流問題がタイトになるほど、自社保有が基本の当社には有利な環境になると考えており、「会社の大動脈は他人資本に依存しない」という約40年間の実践が、これから大いに役立つものと考えています。当社にとって在庫は成長エネルギーの根源であり、「ニアワセ＋ユーチョク」「MROストッカー」、今後サービスを開始する「ユークル」、どれも在庫がなければできないサービスばかりで、ライバル企業の追隨を許すものではありません。

質疑応答

質疑応答は会場➡オンラインにてご参加の皆様のお順にお答えします

〈会場参加の皆様〉

- ・ご質問の際は挙手いただき、
①企業名②お名前③ご質問内容 をお話しください

【オンライン参加の皆様】

- ・ウェビナー上の「手を挙げる」機能をご活用ください。
司会より順に指名いたしますので、ミュート解除後、
①企業名②お名前③ご質問内容 をお話しください

質疑応答

おわりに

最後までご清聴いただきありがとうございました

ウェビナーにてご参加の皆さまは
もし宜しければ本説明会終了後
簡単なアンケートにご協力をお願いします